事業所名 グループホーム陽だまり長屋鈴鹿

作 成 日 ： 平成 23年 4月 17日

評価結果
市町提出日 ： 平成 23年 5月 10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	新任職員も多く、必ずしも理念に沿った介護が周知徹底されているとはいえず、思いがバラバラになっている。	ホーム長を筆頭に、申し送りや連絡事項が途切れることなく行なわれ、理念に沿って落ち着いて入居者に寄り添い笑顔を見つめ過ごせるホームとなる。	日々落ち着いて入居者と共に過ごす。	6 か月
2	13	入居者のADLや状態の変化、緊急時などに適切な対応ができるか不安が残る。職員1人ひとりの地力の底上げの為の研修や勉強会が少ない。	業務に追われること無くゆとりを持って応対できるチームとなる。	知識・技術レベルの底上げを行うと共に介護に対する意識を共有できるように、勉強会や外部研修に積極的に取り組む。	12 か月
3	26	ケアプランが周知されておらず、ケアプランに沿った支援、記録ができていない。	ケアプランに沿った支援を行なう事で、全員で安定した介護が提供できる。	担当制にして、1人ひとりが積極的に関わる事で意識づけを行い責任感をもって取り組んでいく。	8 か月
4					か月
5					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。